

共に学び磨き進まん

日々向上 ~昨日より今日 今日より明日~

横中は
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA

◆学校再開後の様子について◆

待ちに待った6月1日。ようやく本格的に学校が再開しました。各学年の集会でも話しましたが、学校再開に至ることができたのは、生徒一人一人が外出自粛期間中に我慢したことはもちろん、保護者や地域の方々が生徒たちをしっかりと支えてくれたことによるものだと思います。これまでの日常生活とは異なる生活スタイルを強いられ、不便に感じたり苦労されたりすること多かったと思いますが、本当にありがとうございました。学校が再開して約1か月が経ちますので、学校での生徒たちの様子をお知らせいたします。

(1) 登校時

学校再開直後は、ほとんどの生徒が検温してから登校していましたが、日が経つにつれて少しずつ徹底できていない様子も聞こえてきます。ご家庭でももう一度、朝の検温を促していただけますと助かります。(発熱時は休養させてください)

(2) 授業時

3つの密を可能な限り避ける学習形態と内容で授業を行っています。教科によっては、かなり制約を受けた活動となっているのが現状ですが、ご理解ください。

(3) 給食時

- 給食前後に、石鹸を使った手洗いをしっかりと行っています。ランチマットを敷き、全員が前を向いた状態で食べるようにしています。早くグループで食べさせてあげたいと思っていますが、今はまだ我慢の時です。
- 水道周辺の密集や唾液が飛散するのを防ぐために、食後はまず、持参した水かお茶で口をすすぐようにしています。昼休みに歯磨きをする生徒もいます。

(4) 昼休み・休み時間

- 歯磨きを行っている生徒や、校庭で元気よく遊んでいる生徒、友人と談笑している生徒など様々です。手洗いを励行しています。
- 若干ですが、休み時間に大きな声を出したり、廊下を走ったりしている生徒もいて残念です。感染症予防の観点からも、落ち着いて過ごすよう指導しています。

(5) 清掃時

- 清掃後の手洗いをしっかりと行っています。
- 共用部分や机などを次亜塩素酸水や次亜塩素酸ナトリウムで消毒していましたが、宇都宮市から消毒用アルコールが配備されましたので、今後はアルコールを中心に使用しながら消毒していく予定です。

(6) 部活動

◆再開後の2週間は、基礎体力や柔軟性の向上を図る活動内容でしたが、その後は少しずつボールなどの用具を使った本来の練習内容に近づいてきています。今後も状況を見ながら、やれる内容を広げていく予定です。

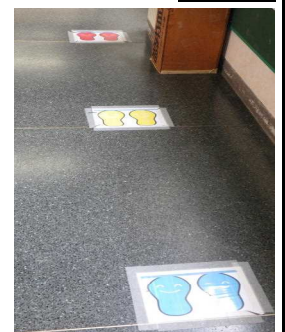
- 7月からは、活動時間なども含めほぼ通常の練習内容にしていく予定です。また、部活動によっては朝の練習も実施するようになる予定です。
- 県内の移動に限られますが、7月からは、対外的な試合や練習なども実施可能となります。

※ただし、依然として新型コロナウイルス感染症が終息したわけではないので、活動前の健康状態を確認したうえでの参加となります。引き続き、検温などの体調管理を各家庭においてもお願いいたします。(体調不良の場合は休ませて下さい)

【写真の説明】

左から

- 昼休みの校庭の様子
- ソーシャルディスタンスの見える化(2枚)



◆うれしいお知らせをいただきました◆

先日、宇都宮市教育委員会から電話があり、嬉しいお知らせをいただくとともに、全校生徒及び保護者の方にも知らせてほしいという依頼を受けましたのでご紹介します。

昨年11月、横川地区市民センターで『横川地区まちづくり懇談会』が開催され、80名超の地域の大人の方々に混じり、本校から3名の生徒が参加したそうです。（昨年度後期の生徒会長と副会長2名：現3年生の3名です。）

この懇談会は、佐藤宇都宮市長に直接、地域からの声や要望などを伝え、より良い「まち（地域）づくり」についてみんなで考える機会になればとの考えで開催されているものだそうです。

本校生徒からは以下の2つの提案や要望が出されました。

①【横川地区のPRについて】3年荒川さん・今村さんによる提案

地区内で石碑などをよく見かけるので調べてみると、多くの遺跡や古墳があることがわかった。2019年は記念物保護の取組が始まり100年目ということで、文化庁では令和元年度～3年度に「記念物100年」事業を実施している。そのような年に、**歴史ある横川地区をPRする機会がつかれるとよいと思う。**

②【横川中学校校周辺の安全確保について】3年小島さんによる提案

横川地区は人口が多く、全体的に活気にあふれているので嬉しく思っている。生徒のほぼ全員が自転車通学だが、本校周辺は車が多い一方で街灯やカーブミラーなどが少ない状況である。特に登校時と部活動を終えて下校する際に危険を感じる人が多い。**事故が起きる前に、必要箇所に街灯やカーブミラーを設置してほしい。**

これらの提案や要望に対して、宇都宮市として、以下のように応えてくれることになりましたので、簡単にご紹介します。

①横川地区のPRについて

横川地区には市の指定文化財になっている下栗大塚古墳や弥生式土器が出土した本村遺跡、猿山遺跡、さるやま城遺跡など歴史文化資源に恵まれた土地柄である。そこで、今年の9/28～11/30に宇都宮城址公園内清明館歴史展示室で開催予定の「史跡名勝天然記念物100周年記念企画展」で、横川地区を代表する下栗大塚古墳を紹介する予定である。

②横川中学校校周辺の安全確保について

市内の小中学生が安全に通学できる環境確保のため、地域の方々や学校、警察などによる合同点検や地区ごとの環境点検を行っている。交通事故防止のために効果的な対策は様々あるが、できることをすぐにやっていきたい。危険箇所の現地確認が必要なので、学校からの依頼をもとに、今夏、合同点検を行い具体的な対策を検討する。

2つの提案や要望とも、横川地区を「今よりももっと住みやすく活気のある地区にしたい。」という、地域への思いが詰まったものだと感じました。また、中学生ながら地域社会にしっかりと目を向け、よいところと課題を分析し、具体的な対策案を含めて考えを述べており感心させられました。中学生の意見に正面から向き合っていただき、具体的なアクションを起こしてくれた市の行政にも感謝しています。

生徒の皆さん一人一人には、今まで以上に地域に目を向け、『安心・安全な地域づくり』のために自分ができること、しなければならぬことについて考える機会にしてほしいと思いました。時には親子で、そんな話題で話してみるのもいかがでしょうか。

美しい靴の並びです



左の写真は、とある学級の下駄箱の様子です。左右の靴がしっかり揃い、とても美しく靴が並んでいる下駄箱を見ると清々しい気持ちになります。

靴を置くときに、ちょっとだけ意識をすれば美しく並べることができます。

こういう小さいことにも気を配れることが、自分自身を磨き、生徒指標にもある「美しさ」につながっていくのです。

明日からでも靴を揃えてみましょう！

